

DOCUMENT

series 171

Eye

混合交通を観察する

2003年10月に警察庁とJAFが合同で実施した「シートベルト着用状況全国調査」の一般自動車道における着用率は、運転者が89.4%、助手席同乗者が75.2%、後部座席同乗者6.9%という結果となった。

および助手席に乗り乗る場合にはシートベルトの着用が義務づけられている。だが、後部座席に関してはシートベルトの着用が努力義務となっているために、

後部座席同乗者はシートベルトを着用しているか?

WHY



シートベルトを着用していない後部座席同乗者

観察場所 / 神奈川県横浜市西区浅間町1丁目16「浅間下交差点」付近
観察日 / 3月27日(土曜日)
天候 / 晴
観察時間 / 11:30 ~ 13:00
観察者 / 3名

後部座席同乗者のシートベルトの着用状況を観察する

乗用車の後部座席同乗者377人中シートベルトを着用していたのは31人

後部座席でシートベルトを着用している人がまだまだ少ないのが現状である。家族連れのクルマが多い春休みの昼間に後部座席同乗者のシートベルト着用状況を観察してみた。

WATCHING

後部座席同乗者の着用率はわずか8.2%

観察場所はJR横浜駅に近い浅間下交差点。土曜日ということもあり、家族を乗せた買物や観光目的と思われるクルマが多く見られた。

観察は後部座席に人が乗車している車両すべてを対象に、後部座席でのシートベルトの着用状況を世代別に観察した。

後部座席同乗者のシートベルト着用状況(総台数243台)

	幼児	小学生	中学生・高校生	成人	高齢者	合計(構成率)
着用	18	4	1	5	3	31(8.2%)
非着用	28	44	28	209	37	346(91.8%)
合計	46	48	29	214	40	377(100%)

幼児(6歳未満) 小学生(6~12歳) 中学生・高校生(13~18歳) 成人(19~64歳) 高齢者(65歳以上) の判断は観察者の見解による。幼児はチャイルドシートを使用していた場合を着用とした

1時間30分の観察の結果、後部座席に人が乗車していた車両は243台。後部座席に乗り乗っていた人は合計377人。後部座席でシートベルトを着用していたのは、小学生が48人中4人、中学生・高校生が29人中1人、成人が214人中5人、高齢者が40人中3人だった。6歳未満の幼児は46人中18人しか、チャイルドシートを使用していなかった。合計すると後部座席のシートベルトの着用は377人中31人で、着用率はわずか8.2%となった。

ワゴンタイプのクルマで後部座席を平らにして遊んでいる小学生と見られる3人の子もまた、チャイルドシートを使わずに母親などに抱かれていた幼児の姿も見かけた。また、チャイルドシートを装備しているにもかかわらず、その横に座っていたり、立っている幼児も観察された。

この他、成人や高齢者でシートベルトを着用している人では、男性に比べ女性の方が多かった。



写真上 / 後部座席はシートベルトの非着用が多い
写真下 / 高齢者も後部座席に多くみられた

PROPOSE

ドライバーが後部座席でのシートベルト着用を訴えてほしい

観察の結果、小学生以上では後部座席でのシートベルトの着用率は極めて低かった(331人中13人)。クルマにはシートベルトが乗車定員分装備されている。後部座席であってもシートベルトを着用しないと、衝突事故が起きた際に車外放り出され、衝撃で体が運転席の方へ飛ばされ、さらけ出される危険がある。

後部座席でのシートベルト着用は安全を確保する上で極めて有効であるため、ドライバーが積極的に訴えてほしい。特に、高齢者の中には運転経験がなく、シートベルトの着用が慣れていない人もいるので、ドライバーが着用の重要性をきちんと説明して、同乗者に理解してもらい、確保するのはドライバーの使命である。

SJ Mail ご愛読者の皆様へ
今月号に対するご意見・ご感想をお寄せください!!

SJ編集部では今後の紙面づくりの参考にさせていただくため、日頃よりご愛読いただいている読者のみなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。今月号へのご意見・ご感想は右記のメールアドレスへ。 sj-mail@ast-creative.co.jp
弊紙に対するご要望や個別のご質問には回答できかねる場合がございます。あらかじめご了承ください。